

# 令和5年度第1回北広島市図書館協議会 議事録

## 【会長】

ただ今より、令和5年度第1回北広島市図書館協議会を開会いたします。

本日は、過半数以上の出席をいただいているので、今回の会議は成立していることをご報告いたします。なるべく短い時間で有意義な会議にしたいと考えておりますので、ご協力よろしくをお願いいたします。では、委員の皆さんに自己紹介をお願いいたします。名簿の順に所属、お名前など簡単をお願いいたします。

## （自己紹介）

## 【会長】

それでは会議次第に従いまして、議事を進めさせていただきます。初めに、令和5年度北広島市図書館利用状況から事務局の報告をお願いします。

## 【事務局】

令和5年度北広島市図書館利用状況について説明いたします。1ページをご覧ください。今年度につきましては、5月にコロナが5類に移行されたことから、施設利用の制限もほぼなくなり、コロナ前の通常の利用ができるように回復している状況です。

「1. 貸出の状況」についてですが、年度途中であるため、昨年度との比較から4月から1月までの数字を載せています。

全体の貸出冊数は、昨年度の同時期と比較すると全館で21,499冊の減少、昨年比93.6%、一人当たりの貸出5.54冊となっています。なかでも移動図書館車が17.4%、大曲分館が約10%と減少しています。コロナによる制限がなくなったことから、読書だけではなく活動できるようになったこともあります。ほぼコロナ前の利用に戻りつつある状況が見られます。続きまして、2ページの「2. AVコーナーの利用状況」についてですが、こちらもDVDの個人利用などの(1)のAVブースの利用、(2)のインターネット端末の利用状況については、決まった利用者の安定した利用となっています。(3)上映会につきましては、現在第1・第3水曜日の午前午後の2回上映を月2回開催し、1回の上映あたり、20～30名の方が楽しんでいる状況となっています。

続きまして、「3. 予約処理の状況」についてですが、(1)予約受付件数では、カウンター窓口での受付件数を館ごとに記載しています。窓口での予約件数は、昨年同時期とほぼ変化のない状況です。(2)は受付別の数字となっています。1月末までの合計は55,480件となっており、webからの予約が伸びている状況です。webからの予約が約6割を占めています。全体としましては、北広島市の人口減少もありますが、コロナからようやく解放され、定着した利用状況になりつつあります。読書室や社会人調査室の利用、土日の家族利用なども落ち着いた状態で利用が見られています。

最後の写真につきましては、現在展示している特集展示になります。職員おすすめ本にPOPを付けた本を特集として一般書、児童書で展示しています。先月までは小学生、中学生の「POPコンテスト」も開催していきまして、こちらも好評でした。普段手に取らないような内容の本もPOP付きで紹介されると、読んでみようという気持ちになり、貸出が増えているようです。お時間がありましたら、お帰りの際に立ち寄ってご覧いただけたらと思います。

# 令和5年度第1回北広島市図書館協議会 議事録

最後に、昨年10月で1998年の開館から25周年を迎えました。開館からずっとフィールドネットのボランティアの皆さんや市民の方々と共に歩んできた足跡であると実感しています。

施設は老朽化しつつありますが、今後も皆様から親しまれる存在であり続けるように努力していきたいと考えております。

図書館の利用状況につきましては、以上となります。

## 【会長】

ただ今、事務局より(1)令和5年度北広島市図書館利用状況に関する報告がありましたが、以上の説明に対し、質問や意見等がございましたら、よろしくお願ひいたします。

## 【会長】

意見がないようですので、続いて(2)令和5年度学校図書館利用状況の報告について事務局から説明をお願いします。

## 【事務局】

令和5年度学校図書館利用状況についてご説明いたします。

3ページをご覧ください。市内の小中学校の学校図書館で貸出された冊数を年度別・学校別にまとめています。

今年度は、小中学校ともに全体としては、貸出に大きな増減が見られませんでした。

小中学校ともに、コロナの5類移行に伴い、今まで中止となっていた学校行事やイベントが再開され、図書室利用が減少している学校も見られます。

西の里小につきましては、魅力のある資料購入による利用の増加、大曲東小につきましては、前年度改修工事で利用できなかった期間があったことによる増加となっています。

中学校につきましては、タブレット端末を使った授業が増え、資料提供の機会が減っていることもありますが、新聞を読むために、図書室で過ごす生徒もいると聞いています。

大曲中、西の里中につきましては、学級利用による貸出、特別支援学級の利用などがあり、また読書好きでたくさん本を借りる生徒が増えたことから、貸出増加が見られています。逆に緑陽中は、たくさん借りていた学年の卒業が貸出数の減少の理由となっているようです。

小学校の豆次郎の利用や公共図書館から小中学校への団体貸出の利用など、システムに反映されていない部分でも、子どもたちは読書をしており、子どもたちのリクエストを新刊購入に反映させて、児童・生徒が利用したい学校図書館運営に取り組んでいます。

次に4ページをご覧ください。学校図書センターの取り組みの中で、きたひろブックキャラバンについてご説明いたします。

今年度も、双葉小・大曲小・大曲東小の3校で実施しました。北広島市図書館のカードで1人3冊まで貸出ができ、持ち込んだ児童書約1,200冊～1,800冊のうち全体の約6割が借りられ、1人あたり2.3冊の貸出となりました。

児童からのブックキャラバンの感想として「学校では見られない本が見られた」「おもしろい本がたくさんあった」、学校からは「時間をかけて、気に入った本を選び、読書をゆっくり楽しめる時間が良い」「すべての本の表紙が見えている状態で本を選べるのが良い」という感

# 令和5年度第1回北広島市図書館協議会 議事録

想がありました。

このブックキャラバンを通して、子どもたちへの本への興味関心を高める効果があることから、来年度も希望の学校と時期を調整しながら、開催する予定です。

【会長】

ただ今、事務局より(2)令和5年度学校世所管利用状況に関する報告がありましたが、以上の説明に対し、質問や意見等がございましたら、よろしくお願ひいたします。

【会長】

意見がないようですので、続いて(3)地域まるごと読書支援モデル事業について事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

地域まるごと読書支援モデル事業について報告いたします。

幼児期からの連続した包括的な読書活動の推進をねらいとして、子育て世代の多い大曲地区を対象に、まちなか司書1名を配置しています。

主な業務としては、大曲にある2つの小学校図書館に隔週巡回、また、大曲地区の保育園・こども園に対し、毎週決まった曜日に一日1園巡回を行い、在園児への読み聞かせを行っています。

各園の読み聞かせ状況につきましては、(3)の1の表をご覧ください。

5年度から、全ての園で読み聞かせが再開し、以前のような近い距離での読み聞かせができるようになりました。うたあそびや手あそびなどで体を動かしたり、同じ本を何回もリクエストされたりと、体力的にはとてもハードですが、子どもたちが楽しんで絵本を聞いてくれていることが、800冊の読み聞かせにつながっています。

園で本の受け渡しができる家読パック「こつぶ」については、下の2の表をご覧ください。貸出冊数は、1月末の時点で3,846冊の貸出数となりました。貸出冊数は昨年度より減少しましたが、ご家庭によっては、2週間の貸出サイクルが早いと感じられることもあり、新たに4週間サイクルを作ったところ、全体の13%の方がご利用され、お客様に合わせたペースでご利用いただけるようになりました。

また、今年度は各園で出張ブースを設け、「こつぶ」を知っていただけるような機会を設けました。お客様と直接おはなしすることで、新規利用にもつながり、今後も色々な形でPRを積極的に続けてまいります。

報告としては、以上です。

【会長】

ただ今、(3)地域まるごと読書支援モデル事業に関する報告がありましたが、以上の説明に対し、質問や意見等はありますか。

【会長】

ないようですので、続いて(4)令和6年度予算案の概要について事務局から説明をお願い

# 令和5年度第1回北広島市図書館協議会 議事録

します。

## 【事務局】

(4) 令和6年度予算案の概要について、公共の図書館運営に関する予算、学校図書運営に関する予算、それぞれ2つに分けて説明いたします。予算案は5ページのとおりとなっております。

はじめに公共の図書館運営に関する予算についてです。

報酬・職員手当・共済費については、会計年度任用職員への給与に関わってくる予算です。昨年の支給額の改訂に伴い、条例と規則に基づいてそれぞれ増加しています。

報償費については館内を客観的に評価してもらうためのモニターを依頼する予算として昨年度と同額で要求しています。

旅費については、会計年度任用職員の通勤経路の変更等を想定して増額で要求しています。

需用費は主に図書の購入費になっています。ここ数年は予算を削減する形になっておりましたが、来年度については前年度と同水準で要求している状況です。

また、移動図書館車くまさん号の冬タイヤが摩耗している状況なので、買い替えるための予算を要求しています。

役務費については郵便料や新聞記事のデータベースなど、各種通信サービスにかかる予算です。令和5年度比で約91万円減となっておりますが、デジタルアーカイブシステム、図書館業務ウェブシステムの予算項目が「使用料及び賃借料」へ変更となっているためとなっております。従って図書館のサービス内容に変更はありません。

委託費については、3年契約の最終年となっている図書館の窓口業務を委託するための予算となっております。

使用料及び賃借料については、先ほど申しあげました予算項目の変更により役務費からデジタルアーカイブシステムや図書館業務ウェブシステムの予算を移しています。また、5年契約の図書館業務システム、図書館端末基盤システムの最終年となっており、年度の途中に入札を行うことを検討しておりましたが、図書館業務システムについては1年の再リースを、図書館端末基盤システムについては、契約満了後譲渡される端末を継続利用し、予算の削減を試みる方針で検討しております。

負担金及び交付金については、図書館ボランティア団体で構成されている北広島市図書館フィールドネットの活動費である交付金の予算をコロナ前の水準に戻るよう要求しています。

公課費については、移動図書館車の重量税となっております。

続いて、5ページ下段、学校図書センター予算案について説明いたします。

需用費は学校図書の購入費となっておりますが、今年度は削減の方針で検討しております。

役務費については、この後に説明がいたしますが、デジタル豆次郎の導入を検討していることから約38万円の増加となっております。

委託費は公共の図書館運営費と同様、3年契約の最終年であり、予算は前年度と同額です。

使用料及び賃借料についても、公共の図書館運営費と同様、5年契約の図書館業務システム、図書館端末基盤システムの最終年となっており、年度の途中に入札を行うことを検討しておりましたが、図書館業務システムについては1年の再リースを、図書館端末基盤システムについては、契約満了後譲渡される端末を継続利用し、予算の削減を試みる方針で検討しております。

# 令和5年度第1回北広島市図書館協議会 議事録

---

【会長】

ただ今、事務局より報告がありましたが、以上の説明に対し、質問や意見等がございましたら、よろしくお願ひいたします。

【委員A】

図書館業務システムとは蔵書を検索するシステムのことでしょうか。

【事務局】

はい。図書館業務システムは図書館業務や蔵書検索にあたるソフト面の契約で、図書館端末基盤システムが館内で使用するハード面の契約となっており、それぞれ5年契約の最終年となっております。

【会長】

他には意見や質問などございませんか。

【会長】

ないようですので、続いて(5) デジタル豆次郎の概要について事務局から説明をお願いします。

【事務局】

先ほど、学校図書センター予算案の説明で触れましたが、学校図書館に電子書籍の貸し出しサービスを入れようと考えております。

目的は、タブレット活用によるメディア教育を推進することや、児童生徒の読書、来館を促すこと、福祉読本や電子版小学校社会科副読本などの教材としての活用、また読み上げ機能や文字の拡大機能を活用した障がい者サービスの拡大などを目指しています。

概要といたしましては、小中学校図書館向けの電子書籍貸出クラウドシステムを導入し、「デジタル豆次郎」として、利用範囲を中学校まで拡大するよう検討しています。

搭載資料は、青空文庫・読み放題パックなどの無制限同時閲覧が可能なコンテンツとし、貸出回数制限のある書籍は、原則、購入、搭載しない予定です。

現行の学校図書館利用者IDを利用することから、利用統計などの把握が可能となります。

また、「福祉読本」の電子化搭載と提供、既存の「電子版・小学校社会科副読本」へのリンクも可能です。

西部小で実験導入中の学校図書館 OPAC「ぼけとしょ」との連動、学校図書館からの新着図書、おすすめ図書などの情報発信の強化も見込んでいます。

予算としては現行の学校図書館活用事業内の「豆次郎」にかかる費用を組み替えて実施し、令和6年夏頃までに貸出、閲覧、副読本などの各種教材の閲覧を開始する考えです。

現行の豆次郎については『学校に新しい本を』という趣旨の下、平成本プロジェクトとして新刊の積載を中心に開始しましたが、搬送経費や木箱更新などの運用経費の高騰によりコストパフォーマンスの低下が進み、現行手法での継続に限界を迎えつつあります。

# 令和5年度第1回北広島市図書館協議会 議事録

また、大規模改修に合わせて行なってきた図書室のリニューアルが80%以上進捗し、学校図書館への司書巡回も段階的にはあるが進められています。

豆次郎については、デジタル化手法を先行させつつ、現行手法の見直しを図るため、アンケート調査などの利用実態調査を行ない、より持続可能な運用を検討していきたいと考えています。

例えば、毎月巡回を3ヶ月単位に変更し、学校間搬送を年1回にする方法や、高学年・中学年の巡回を廃止し、図書を各校図書館へ配分。低学年のみ自力での学校間搬送を行う方法。豆次郎図書を各学校に配分し、学校内で学級巡回文庫を行い、年1回、学校間（分館）で入れ替える方法などが考えられます。

## 【会長】

ただ今、事務局より報告がありましたが、以上の説明に対し、質問や意見等がございましたら、よろしくお願いいたします。

## 【委員B】

学校から子どもたちへ配布されるタブレットの使用状況はどうなっているか。

## 【委員C】

西部小の場合、週末の持ち帰りは2年生以上。1,2年生はローマ字を習っていないため、入力が難しい。もし、このデジタル豆次郎に読み上げ機能があればディスレクシアの子を含め、非常にありがたい機能。一方で耳だけで聴くことは、読み聞かせと変わらない、文字を読まない子も出てくる懸念もある。しかし、導入としては音声として聞けることはありがたいサービス。もしこれがID登録で使えるのであれば家庭でも聞けるので非常にいいなと思って聞いていました。

## 【事務局】

タブレットについてはだんだん持ち帰りも認められるようになってきているようですが、ちなみに夏休みや冬休みのタブレットの取り扱いはどうなのでしょう。

## 【委員C】

私の学校では全校ではないのですが、徐々に長期休業中の貸し出しも行っている。

## 【事務局】

今後、タブレットの開放は進んでいくと思われます。

## 【委員A】

この電子書籍は自宅のPCにIDを入れれば見れてしまう？

## 【事務局】

# 令和5年度第1回北広島市図書館協議会 議事録

可能です。子どもの学校図書館用のIDとパスワードを入れれば、お父さんお母さんも使えてしまいます。

## 【委員D】

中学校ではタブレットなしの授業が考えられない状況にまで普及している。中学生は毎日タブレットを持ち帰り、課題の提出もそれで行っている。授業の際には、一つの本をみんなで見たいとなった時に基本見れない。その場合はプロジェクターなどで映して見えるようにしている。複数人でも同時に別の端末で見れるようにはならないでしょうか。

## 【事務局】

読み放題パックで購入すれば、複数の端末で同時に見ることができます。なので授業で使えるようなパックを購入していく考えもあると思います。

## 【委員C】

聞いていていいなと思った点として、低学年の国語の学習で昔話を読む授業があります。紙の本で50冊用意しても、クラスごとに時間をずらさなくてはいけなかったり、読みたい本が回ってこなかったりするけども、読み放題パックだと同時に読めるのはありがたい。そして、図鑑などを開いた状態でスクリーンショットして保存することが可能なのでしょうか。

## 【事務局】

それは難しいです。

## 【委員C】

それが出来れば、例えば1年生の調べ学習で自動車の仕組みを学んで自分で自動車の説明の文章を書くという単元があるので、それに写真なども入れることができればと思ったのですが。

## 【事務局】

複写などの権利はガードされていることが多いようです。

図鑑については各出版社で読み放題パックを出しているようですが非常に高額であるため、まだ無理があります。最終的には仰るような活用の仕方も大切になってくるかと思いますが、電子書籍の貸出自体まだまだ始まったばかりのサービスなのでまずは読み放題パックから徐々に慣れていってもらえたらと思います。加えて先生方が作った自作の資料も入れることができますので、教材としても役立ててもらえたらと思います。

## 【委員C】

来年度、小学校教材の改訂がありますが、その先の改訂では紙の教材に加えてデジタルの教材も併用する形になるかと思っていますので、このように今からデジタルに触れる機会が出来ることはいいことだと思いました。話は変わりますが、豆次郎廃止の話が出てきましたが、北広島はありがたいことに図書館側から学校へ運搬してくれる。他の自治体では担任の先生が図書館まで取りに行っているケースもあるので非常に北広島はありがたいなと思っています。

# 令和5年度第1回北広島市図書館協議会 議事録

---

## 【事務局】

豆次郎は本館が一括して動かしているが、それぞれの学校図書館に司書が配置することができれば、学校の中での学級巡回文庫も可能になってくる。そういった道筋も考えながら、豆次郎のエッセンスを今後も活かしていきたいと考えています。

## 【委員A】

市内小中学校への学校司書の配置については今後ありうる話なのか。

## 【事務局】

中学校が6校に対して3人。大曲小、大曲東小が隔週でまちなか司書が巡回しています。西の里、団地、東部地区についても配置できるよう頑張っているところです。図書館運営の予算の見直しを行い、人件費の増加に充てられるよう努める必要性もあると思います。利用統計からみても、学校図書館や保育園の利用は横ばいで推移している。ですが、公共の図書館の利用が落ちこみ気味になっている要因は人口減よりも利用者の高齢化が進んでいる状態だと思われます。従って公共の図書館に充てる人員を学校司書にシフトさせるなど、図書館サービス全体の中で工夫していければと思っています。

## 【会長】

それでは全体を通して何か質問や意見のある方はいらっしゃいますか。

## 【会長】

以上で、令和5年度第1回北広島市図書館協議会を閉会いたします。  
ありがとうございました。

会議録署名委員 北川 由合子

